

# 【日の出入り・月の出入り表】

2022年 10月

提供:国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備 考
	時:分	時:分:秒	度	時:分	時:分	時:分		
1	6:15	12:10:56	53.7	18:06	11:40	21:34	5.2	水星留※1
2	6:16	12:10:36	53.3	18:05	12:48	22:30	6.2	
3	6:16	12:10:17	52.9	18:04	13:51	23:34	7.2	上弦
4	6:17	12:09:59	52.5	18:02	14:46	--:--	8.2	
5	6:18	12:09:40	52.1	18:01	15:34	0:44	9.2	
6	6:18	12:09:22	51.8	18:00	16:14	1:55	10.2	
7	6:19	12:09:05	51.4	17:59	16:48	3:05	11.2	
8	6:20	12:08:47	51	17:57	17:19	4:13	12.2	寒露(かんろ)※2
9	6:21	12:08:31	50.6	17:56	17:48	5:19	13.2	水星西方最大離角※3
10	6:21	12:08:14	50.2	17:55	18:17	6:23	14.2	満月 スポーツの日
11	6:22	12:07:58	49.9	17:53	18:47	7:26	15.2	木星が東矩※4 おうし座南流星群が極大
12	6:23	12:07:43	49.5	17:52	19:19	8:29	16.2	
13	6:24	12:07:28	49.1	17:51	19:55	9:31	17.2	
14	6:24	12:07:13	48.7	17:50	20:35	10:32	18.2	火星が衝※5
15	6:25	12:07:00	48.4	17:48	21:20	11:31	19.2	
16	6:26	12:06:46	48	17:47	22:10	12:25	20.2	
17	6:27	12:06:34	47.6	17:46	23:05	13:15	21.2	
18	6:27	12:06:22	47.3	17:45	--:--	13:58	22.2	下弦
19	6:28	12:06:10	46.9	17:44	0:02	14:36	23.2	
20	6:29	12:05:59	46.5	17:43	1:01	15:10	24.2	秋土用※6
21	6:30	12:05:49	46.2	17:41	2:00	15:40	25.2	
22	6:31	12:05:40	45.8	17:40	2:59	16:08	26.2	オリオン座流星群が極大
23	6:31	12:05:31	45.5	17:39	3:59	16:35	27.2	霜降(そうこう)※7 金星外合 土星留
24	6:32	12:05:23	45.1	17:38	5:00	17:03	28.2	
25	6:33	12:05:15	44.8	17:37	6:03	17:32	29.2	新月 部分日食(日本では見られない)
26	6:34	12:05:09	44.4	17:36	7:08	18:05	0.7	
27	6:35	12:05:03	44.1	17:35	8:17	18:44	1.7	
28	6:35	12:04:57	43.8	17:34	9:29	19:29	2.7	
29	6:36	12:04:53	43.4	17:33	10:39	20:24	3.7	
30	6:37	12:04:49	43.1	17:32	11:45	21:27	4.7	火星留
31	6:38	12:04:46	42.8	17:31	12:44	22:35	5.7	

\* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

\* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していくように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」とな

※2 二十四節季の一つ 意味:秋が深まり、野草に冷たい露がむすぶ。

※3 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※4 火星・木星・土星などの外惑星が、地球から見て太陽と直角方向にある時を「矩(く)」といいます。西矩(せいく)の頃は明け方、東矩(とうく)の頃は夕方に外惑星が南中します。(矩は「さしがね」の意味です)

※5 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※6 土用:四立(立春・立夏・立秋・立冬)のおよそ18日前をいう。最終日が四立の前の日・節分になる。

※7 二十四節季の一つ 意味:霜が降りるころ。